

「公認会計士の日」大賞歴代受賞者一覧

	受賞者	主な選定理由
第 1 回 (2009 年)	(大賞) 山田 辰己氏	国際的な会計基準の開発及び我が国の会計基準の発展並びに国際社会における我が国公認会計士の地位の向上に貢献
	(特別賞) NHK ドラマ「監査法人」スタッフ	公認会計士・監査法人に焦点を当てた初めての本格的なテレビドラマを制作し、公認会計士監査に対する社会的な関心を高めることに貢献
	(特別名誉賞) 白鳥 栄一氏	国際会計基準委員会議長をはじめとした活動を通じ、会計基準の国際的な調和・統一及び国際社会における我が国公認会計士の地位の向上に貢献
第 2 回 (2010 年)	(大賞) 川北 博氏	アジア・太平洋会計士連盟会長をはじめとした活動を通じ国際社会における我が国公認会計士の地位の向上に貢献
	(特別名誉賞) 福間 年勝氏	国際会計基準委員会財団評議員をはじめとした活動を通じ、永きにわたり会計基準の国際的な調和・統一及び我が国の会計基準の発展並びに公認会計士制度の普及に貢献
第 3 回 (2011 年)	(大賞) 萩原 敏孝氏	財務会計基準機構理事長をはじめとした活動を通じ我が国の会計基準の発展に貢献すると共に、IFRS 対応会議議長として我が国の国際化に貢献
	(特別賞) 竹内 敏晃氏	日本電波工業株式会社は我が国の企業として国際財務報告基準を率先して適用することを通じ、我が国における国際財務報告基準の導入に対する社会的な関心を高めることに貢献
	(特別賞) 田近 耕次氏	国際会計基準委員会財団の初代評議員をはじめとした活動を通じ会計基準の国際的な調和及び統一や、国際社会における我が国公認会計士の地位の向上に貢献
第 4 回 (2012 年)	(大賞) 八田 進二氏	企業会計審議会内部統制部会部会長をはじめとした活動を通じ、我が国における内部統制制度策定の中心的役割を担い公認会計士業界の発展に貢献
	(特別賞) Sir David Tweedie 氏	国際会計基準審議会の初代議長をはじめとした活動を通じ、会計基準の国際的な調和・統一及び我が国の会計基準の発展並びに国際化に貢献

第5回 (2013年)	(大賞) 島崎 憲明氏	日本経済団体連合会、金融庁及び公益財団法人財務会計基準機構などの要職を歴任し、我が国における会計基準の質の向上に貢献
	(特別賞) 北村 敬子氏	永きにわたり大学教授として後進の育成に携わるとともに、金融庁の企業会計審議会委員として研究開発費など会計基準の設定、監査基準の改訂の審議に参画し日本の会計制度の適正かつ深度ある発展に貢献
第6回 (2014年)	(大賞) 西川 郁生氏	国際会計基準との相違を解消する、コンバージェンス作業を推進し、エンドースメント作業を進め、我が国における会計基準の開発、整備、意見発信の中核を担い、我が国の会計基準の普及・発展に貢献
	(特別賞) 金子 晃氏	公認会計士・監査審査会の初代会長として、我が国の監査監督制度を軌道に乗せ、定着させることに貢献し、監査の質の向上と信頼性の確保に貢献
	(選定委員特別賞) 田中 英淳氏	岐阜県立岐阜商業高等学校の簿記部顧問として指導にあたり、「全国高等学校簿記コンクール」において、10年間連続で団体優勝するなど若者の会計基礎教育に貢献
第7回 (2015年)	(大賞) 藤沼 亜起氏	国際会計士連盟理事、副会長を歴任し、日本人初の会長にも選出され、国際会計士連盟の構造改革に貢献。また国際会計基準委員会財団の評議員、副議長も務め、我が国の公認会計士の地位及び知名度の向上に貢献
	(選定委員特別賞) 山田 真哉氏	『女子大生会計士の事件簿』など一般の興味を引き付けるタイトルの著作を数多く発表し、身近な疑問から会計の本質を分かりやすく解説し、会計や公認会計士についての社会一般の関心の向上に貢献
第8回 (2016年)	(大賞) 平松 一夫氏	関西学院大学において長きに渡り教鞭をとるとともに、国際会計士連盟・国際会計教育基準審議会の委員を務め、国際教育基準の一連の改訂作業に貢献
第9回 (2017年)	(大賞) 加藤 厚氏	国際会計士連盟の国際会計士倫理基準審議会のパブリック・ボードメンバーを務め、国内外における倫理基準の維持・発展、及び国内の公認会計士への倫理教育普及に貢献